

私と娘の声明は下記の通りです。

娘の言葉からもわかるように、当初の事件は娘に対してそれほどのストレスを与えませんでした。メディアの報道は彼女に過度のストレスを与えています。

以下は、ダボ・リージョナル・カウンシルのマシュー・ディカーソン首長のコメントです。

「4月3日、ダボ訪問団は美濃加茂で、友好と文化交流の素晴らしい祝賀会を楽しみました。正式なディナーの後、私たちはダボ訪問団と美濃加茂の代表者たちと共にカラオケバーに行きました。

ジョニー・ビー・グッドの歌唱中、ある美濃加茂の代表者が近づいてきて私の成人した娘の下腹部に軽くマイクを向けた時、娘は私と妻の隣に座っておりました。

その時娘は驚き、私たちは不適切なジェスチャーと思われるものに対して視線を交わしました。翌日、私たちはその件について簡単に話し合いましたが、その問題はそれ以上の行動を起こすほど深刻なものではありませんでした。

3週間後、出来事を知った藤井浩人市長から正式な謝罪を受けました。その件が起こって以降、私たち家族はその出来事について話し合うことはありませんでした。

藤井市長がその件について私に話し、娘が大丈夫であったかどうかを確認して下さったことに感謝しています。私は藤井浩人市長の謝罪を正式に認め、受け入れたいと思います。

この出来事は、私たち両市の35年にわたる強固な関係に影響を与えるものではなく、今後も美濃加茂市のチームと協力し続けることを楽しみにしております。

これ以上、この出来事に関して何かが起こることはありません。」

以下は、娘のコメントです。

「不適切ではありましたが、家族が近くにいる、出来事も非常に短時間だったため、安心でした。

当時、その出来事はそれほどのストレスを私に与えませんでした。今のメディアからの注目の方が、実際の出来事よりもストレスになっています。

この件について、これ以上話すつもりはありません。」